

2012年10月10日

各位

味の素製薬株式会社  
アステラス製薬株式会社

## 速効型食後血糖降下剤「ファスティック®錠／スターシス®錠」 に関する共同開発契約締結のお知らせ

味の素製薬株式会社(本社:東京都中央区、社長:豊田 友康、以下、味の素製薬)とアステラス製薬株式会社(本社:東京都中央区、社長:畑中 好彦、以下、アステラス製薬)は、このたび、速効型食後血糖降下剤「ファスティック®錠／スターシス®錠」(一般名:ナテグリニド(\*1))のDPP-4阻害剤(\*2)との併用試験に関する共同開発契約を締結しましたのでお知らせいたします。

本契約に基づき、味の素製薬は「ファスティック®錠／スターシス®錠」(一般名:ナテグリニド)のDPP-4阻害剤との併用療法に関する日本人での第Ⅲ相臨床試験を実施し、アステラス製薬は味の素製薬に対し、契約一時金、および開発の進展に応じたマイルストーンを支払います。なお、本契約締結に伴うアステラス製薬の2013年3月期の業績に与える影響は軽微です。

ナテグリニドは、速効・短時間型のインスリン分泌促進作用を特長とする、アミノ酸誘導体からなる経口血糖降下剤です。1999年8月の発売以来、『2型(インスリン非依存型)糖尿病における食後血糖推移の改善』を効能効果として、単剤あるいは $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害剤、ビッグアニド系薬剤、チアゾリジン系薬剤との併用で糖尿病治療に供されてまいりました。

ナテグリニドとDPP-4阻害剤との併用療法が承認されると、ナテグリニドはスルホニルウレア系薬剤以外の全ての経口糖尿病治療薬との幅広い併用効果をもつことになり、2型糖尿病治療に更なる選択肢を提供できるものと考えています。

以上

(\*1) ナテグリニドは現在、日本国内では、味の素製薬より持田製薬株式会社を通じて「ファスティック®錠 30、同 90」の製品名で、アステラス製薬より「スターシス錠®30mg、同 90mg」の製品名で販売されています。海外においては、味の素製薬からのライセンスにより、韓国以外ではNovartis Pharma AG(本社:スイス、バーゼル)を通じて、韓国ではIldong Pharmaceutical Co., Ltd.(本社:韓国、ソウル)を通じて、世界約80の国と地域で承認・販売されています。

(\*2) DPP(ジペプチジルペプチターゼ)-4阻害剤は、食後に分泌されるインクレチン(消化管内の糖濃度に依存してインスリン分泌を促し、血糖を低下させる役割を担う消化管ホルモン)の分解酵素であるDPP-4を選択的に阻害することにより、活性型インクレチン濃度を上昇させ、血糖依存的に血糖低下作用を示す経口血糖降下剤です。本邦では、シタグリプチン、ビルダグリプチン、アログリプチン、リナグリプチン、テネグリプチンが販売されています。

本件に対するお問い合わせ先	
味の素製薬株式会社 経営企画部 03-6280-9802	アステラス製薬株式会社 広報部 03-3244-3201